



優秀賞 (総合部門)

タイトル

バルコニーまで広がるスカイリビング

タイプ

持家一戸建

講評

玄関と水回りを共有していた二世帯住宅を改修。各世帯の独立したスペースを得るため、2階に子世帯の玄関と水回りを設けた。室内の延長として使えるグレーチングのバルコニーなど、空間の広がりを感じさせる工夫がある。

リフォーム前後の写真



リフォーム前

バルコニー、勾配天井、ロフト、R壁。
プレハブ構造の限られた空間で、広く暮らせる手法を工夫



②ファイバークレーチングのバルコニーは、1階へ光と風を届ける。



①子世帯玄関へのアプローチには、バルコニーとデザインを合わせた外階段を取り付けた。



③リビング前のバルコニーは、増築なしに空間的広がりを生み出した。



④プレハブ構造の躯体をあらわして天井を高くし、間仕切りにはガラスモザイクタイルを張ったR壁を配して、起伏に富んだ豊かな空間を演出。



⑤ダイニング上部のロフトは納戸や子どもの遊び場として活用。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

〈リフォームの動機・要望〉

1. 今まで1階に水回りのある家を二世帯で使用してきたが、親世帯とキッチンと玄関を分離して2階に子世帯スペースをつくりたい。
2. 家族それぞれの生活リズムが違うので、独立したスペースが欲しい。
3. すっきりとセンス良く暮らせるインテリアに。
4. 冬寒いので、断熱・暖房の工夫をしたい。

〈リフォームのポイント〉

1. プレハブ構造のため、増築せずに改装のみで個室3室とLDKを計画。広がりを出すため、リビング床と合わせてバルコニーを作り、外部も室内の延長として使えるようにした。
2. リビングは広く取れないため、R壁、勾配天井、ロフトなどを取り入れ、縦横に変化のある空間とした。
3. 寒さ対策に、全室床暖房を設置、サッシはペアガラスとした。
4. 外階段を設置して、子世帯用の2階玄関を設けた。

特に配慮した住宅性能：

データ

所在地	千葉県市川市	構造/築後年数	鉄骨系プレハブ 造/ 22 年
該当工事面積	40 m ² /総工事床面積	59 m ²	該当部分工事費 710 万円/総工事費 16,766 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 2 人/65歳以上：	人/15歳未満： 1 人/ベッド：	
設計者	(株)東急アメニックス	担当者	小澤 誠司
施工者	同上	担当者	

リフォーム前

リフォーム後



1/150

2階



1/150

2階